

# 1 市 勢



# 沿 革

「長崎」の地名には、いくつかの説があるが、この地が長い岬状の地形をしていたことから起こったといわれている。我が国の西の果ての海沿いに位置する長崎の発展の歴史は、元亀元年（1570 年）ポルトガルの宣教師によって良港であることが発見され、領主大村純忠と協定を結び、翌元亀 2 年（1571 年）ポルトガル船が入港し、町建てがされたときに始まる。

その後長崎は、キリスト教の布教の根拠地となったため、当時ルネッサンス期を迎えたヨーロッパの各種の文化が流入し、いわゆる南蛮文化は長崎に重要な影響を与えた。さらに豊臣氏、徳川氏がこの地を直轄領として定めたこと、また 1639 年以後の鎖国により、西欧文化導入の唯一の門戸となったことで、その後 200 数十年にわたり独占的な繁栄を極めた。しかし、安政の開国とともにその地位を失い、古い港町から近代都市としての発展を遂げるために苦しい道程をたどらなければならなかった。近代的産業都市への転換はまず造船工業を基点として始められ、中国大陸及び東南アジアに臨む地理的優位性から貿易港として新しい発展の道が見出されたこと、大正から昭和初期にかけて漁業基地としての地位を確立したことなどにより、次第に近代的産業都市として躍進を遂げ始めた。

第二次世界大戦の末期の昭和 20 年 8 月 9 日、一発の原子爆弾は、7 万余の尊い生命を奪い市北部一帯が廃墟と化した。しかし市民はその苦難の中から立ち上がり、造船業、水産業はともに戦前の水準をはるかに上回り、古い西欧文化の影響を受けた本市独特の歴史的文化遺産と美しい自然に恵まれた観光都市として、国内外において大きく脚光を浴びるに至った。

昭和 48 年のオイルショック以降、構造的な造船不況、あるいは 200 海里問題等による水産業の不振や観光客の減少などにより、本市経済は低迷した。昭和 57 年 7 月 23 日には、未曾有の集中豪雨により当時の長崎市域で 262 人の死者・行方不明者を出し、被害総額 2,119 億円を超える大惨禍を受けた。しかし、市民の努力と国内外からの援助により目覚ましい復興を果たすとともに、更に、このような被害を二度と繰り返すことのないよう、市民と行政が一体となり恒久的な防災都市建設に向けて取り組んでいる。

平成 27 年には、長崎市内の 8 つの構成資産を含む「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」が、平成 30 年には長崎市内の 3 つの構成資産を含む「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が世界文化遺産に登録され、その価値が国内外に発信されることとなった。

令和 3 年には、長崎駅西側にコンベンション施設である出島メッセ長崎が、令和 4 年には西九州新幹線（長崎～武雄温泉間）が開業するなど、陸の玄関口である長崎駅周辺の整備が進められている。

令和 5 年 1 月には、魚の町の市公会堂跡地に移転した新市庁舎（地上 19 階、地下 1 階）が開庁した。

～ 長 崎 の 歴 史 (略 年 表) ～

1571年 (元 龜 2年)	長崎の町づくりが始まり、ポルトガル船が初めて長崎に入港
1592年 (文 祿 元 年)	長崎奉行所設置
1605年 (慶 長 10年)	長崎村が天領となる
1639年 (寛 永 16年)	ポルトガル船の来航を禁止 (鎖国)
1859年 (安 政 6年)	鎖国を解き函館、横浜とともに開港
1869年 (明 治 2年)	長崎府が廃止され、長崎県が置かれる
1889年 (明 治 22年)	長崎市制施行 (4月1日)
1891年 (明 治 24年)	本河内高部水道工事完成、給水開始 (横浜、函館に次いで国内3番目)
1945年 (昭 和 20年)	原子爆弾投下される (8月9日午前11時02分炸裂)
1949年 (昭 和 24年)	長崎国際文化都市建設法が公布される
1982年 (昭 和 57年)	長崎大水害発生 (7月23日)
1989年 (平 成 元 年)	長崎市民平和憲章議決 (3月27日)
1989年 (平 成 元 年)	市制施行100周年
1990年 (平 成 2年)	長崎「旅」博覧会が開催される (長崎県・長崎市・長崎商工会議所共催)
1995年 (平 成 7年)	国連軍縮長崎会議開催
1997年 (平 成 9年)	中核市へ移行 (4月1日)
1998年 (平 成 10年)	第2回国連軍縮長崎会議開催
1999年 (平 成 11年)	ながさき男女共同参画都市宣言
2000年 (平 成 12年)	日蘭交流400周年
2001年 (平 成 13年)	ながさき環境都市宣言
2005年 (平 成 17年)	長崎市と香焼、伊王島、高島、野母崎、三和、外海の6町が合併
2006年 (平 成 18年)	長崎市と琴海町が合併、長崎さるく博'06開催
2015年 (平 成 27年)	旧グラバー住宅など8つの資産が世界文化遺産に登録
2016年 (平 成 28年)	連携中枢都市宣言
2018年 (平 成 30年)	大浦天主堂など3つの資産が世界文化遺産に登録
2019年 (令 和 元 年)	市制施行130周年
2020年 (令 和 2年)	長崎やさしいまち宣言
2021年 (令 和 3年)	ゼロカーボンシティ長崎宣言
2022年 (令 和 4年)	西九州新幹線 (長崎～武雄温泉間) 開業
2023年 (令 和 5年)	新市庁舎開庁

# 位 置



## 市 域 の 変 遷

年 月 日	拡 張 地 域	面 積 (km <sup>2</sup> )	人 口 (人)
明 22. 4. 1	市制施行当時	(推) 7.00	54,502
〃 31.10. 1	下長崎村及び上長崎村・戸町村・淵村・浦上山里村の一部 (第1次市域拡張)	(推) 16.00	113,307
大 9.10. 1	上長崎村・浦上山里村編入 (第2次市域拡張)	41.10	232,912
昭 13. 4. 1	小榑村・土井首村・小ヶ倉村・西浦上村編入 (第3次市域拡張)	90.54	268,945
〃 25. 4. 1	福田村の一部編入 (第4次市域拡張)	90.60	247,248
〃 30. 1. 1	深堀村・福田村編入 (第5次市域拡張)	114.23	292,765
〃 30. 2. 1	日見村編入 (第6次市域拡張)	121.32	296,323
〃 37. 1. 1	茂木町・式見村編入 (第7次市域拡張)	165.41	372,027
〃 38. 4.20	東長崎町編入 (第8次市域拡張)	206.62	392,072
〃 48. 3.31	三重村編入 (第9次市域拡張)	238.12	431,181
〃 48. 4. 1	時津町の一部編入 (第10次市域拡張)	239.03	433,196
〃 61.10. 1 現在	公有水面等の埋立て	241.78	448,554
〃 62.10. 1 〃	公有水面等の埋立て	241.79	449,149
〃 63.10. 1 〃	国土地理院による見直し	240.67	447,535
平 2.10. 1 〃	公有水面等の埋立て	240.77	444,599
〃 4.10. 1 〃	公有水面等の埋立て	240.82	442,373
〃 5.10. 1 〃	公有水面等の埋立て	240.99	441,308
〃 6.10. 1 〃	公有水面等の埋立て	241.09	439,471
〃 8.10. 1 〃	公有水面等の埋立て	241.16	436,081
〃 9.10. 1 〃	公有水面等の埋立て	241.20	432,759
〃 13.10. 1 〃	国土地理院による見直し	241.21	421,324
〃 14.10. 1 〃	国土地理院による見直し	241.32	420,229
〃 17. 1. 4 〃	外海町・野母崎町・三和町・香焼町・伊王島町・高島町編入 (第11次市域拡張)	338.72	447,103
〃 18. 1. 4 〃	琴海町編入 (第12次市域拡張)	406.35	454,739
〃 18.10. 1 〃	国土地理院による見直し	406.36	451,738
〃 19.10. 1 〃	国土地理院による見直し	406.37	448,831
〃 20.10. 1 〃	国土地理院による見直し	406.40	445,822
〃 22.10. 1 〃	国土地理院による見直し	406.43	443,766
〃 23.10. 1 〃	国土地理院による見直し	406.46	441,199
〃 25.10. 1 〃	国土地理院による見直し	406.47	436,029
〃 26.10. 1 〃	国土地理院による見直し	405.81	433,514
〃 27.10. 1 〃	国土地理院による見直し	405.86	429,508
令 5. 4. 1 〃	国土地理院による見直し	405.69	395,591

## 地目別地積構成比

地目	比率	地目	比率
山林	37.4 %	雑種地	4.5 %
宅地	13.5	牧場	0.0
畑	13.2	池沼	0.2
原野	6.3	その他	21.9
田	3.0	合計	100.0

※ R5.1.1 現在の固定資産税台帳地積による（非課税地を含む）。

# 人口・世帯数

## 1 人口の推移 (国勢調査結果により推計)

(各年1月1日)

年次	世帯数 (世帯)	人口			人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
		総数(人)	男(人)	女(人)	
H27年	191,715	433,197	198,944	234,253	1,067
H28年	189,944	429,565	199,122	230,443	1,058
H29年	190,212	426,128	197,673	228,455	1,050
H30年	188,328	420,671	194,331	226,340	1,036
H31年	187,459	415,839	191,732	224,107	1,025
R2年	186,504	410,445	188,875	221,570	1,011
R3年	185,914	405,545	186,493	219,052	999
R4年	186,328	402,960	185,653	217,307	993
R5年	186,315	398,039	183,598	214,441	1,981

## 2 人口動態

(単位:人)

年次	自然動態			社会動態			増減
	出生	死亡	増減	転入	転出	増減	
H27年	3,188	4,833	△1,645	15,908	15,314	594	△1,051
H28年	3,189	5,170	△1,981	14,919	16,375	△1,456	△3,437
H29年	3,140	5,229	△2,089	13,613	16,981	△3,368	△5,457
H30年	2,999	5,167	△2,168	13,150	15,814	△2,664	△4,832
R元年	2,782	5,243	△2,461	12,399	15,332	△2,933	△5,394
R2年	2,638	5,185	△2,547	12,185	14,538	△2,353	△4,900
R3年	2,550	5,455	△2,905	11,197	13,682	△2,485	△5,390
R4年	2,449	5,840	△3,391	12,191	13,721	△1,530	△4,921

## 3 外国人人口 (各年12月末)

(単位:人)

年次	総数			中国	朝鮮 韓国	イギリス	アメリカ	フィリピン	マレーシア	ブラジル	その他
	計	男	女								
H27年	5,500	3,937	1,563	1,258	496	53	94	807	9	12	2,771
H28年	5,659	4,015	1,644	1,213	469	49	97	923	10	14	2,884
H29年	4,109	2,483	1,626	1,151	404	46	86	809	8	17	1,588
H30年	3,809	2,072	1,737	1,143	411	41	80	485	16	9	1,624
R元年	3,700	1,910	1,790	1,142	400	39	82	357	17	9	1,654
R2年	3,163	1,642	1,521	991	330	35	68	329	16	7	1,387
R3年	2,854	1,455	1,399	909	293	36	73	326	15	10	1,192
R4年	3,607	1,860	1,747	1,007	324	45	71	430	20	11	1,699

※ 平成24年7月9日に外国人登録制度が廃止され外国人住民も住民基本台帳の適用対象となったため、平成24年からは住民基本台帳に基づく外国人人口となっている。

# 国 勢 調 査

## 1 国勢調査人口の推移

区分 年次	面積 (km <sup>2</sup> )	世帯数 (世帯)	人口 (人)			増 加 人 口 (人)	増加率 (%)	備 考
			総 数	男	女			
S45	207.61	116,899	421,114	199,697	221,417	15,635	3.9	昭和48年三重村(4,882人)・時津町の一部(1,087人)を合併 平成17年香焼町(4,512人)・伊王島町(1,035人)・高島町(900人)・野母崎町(8,101人)・三和町(12,366人)・外海町(7,405人)を合併 平成18年琴海町(12,507人)を合併
S50	239.65	134,783	450,194	214,005	236,189	29,080	6.9	
S55	240.43	143,448	447,091	211,295	235,796	△ 3,103	△ 0.7	
S60	241.76	149,453	449,382	211,546	237,836	2,291	0.5	
H2	240.77	156,731	444,599	207,651	236,948	△ 4,783	△ 1.1	
H7	241.09	165,078	438,635	204,198	234,437	△ 5,964	△ 1.3	
H12	241.20	166,391	423,167	196,213	226,954	△15,468	△ 3.5	
H17	338.72	179,636	442,699	203,292	239,407	19,532	4.6	
H22	406.43	187,685	443,766	203,574	240,192	1,067	0.2	
H27	405.86	189,419	429,508	198,716	230,792	△14,258	△ 3.2	
R2	405.86	187,423	409,118	188,519	220,599	△20,390	△ 4.7	

※ 各国勢調査年次での市域における人口・世帯数・面積であり、現市域の数値ではない。

※ 備考欄の人数は、合併前の国勢調査における人口である。

## 2 年齢別人口

(単位：人・%)

年齢別 年次	計		0～14歳		15～64歳		65歳以上	
	総 数	割 合	実 数	割 合	実 数	割 合	実 数	割 合
S45	421,114	100.0	108,697	25.8	286,904	68.1	25,513	6.1
S50	450,194	100.0	111,677	24.8	306,099	68.0	32,360	7.2
S55	447,091	100.0	104,199	23.3	303,983	68.0	38,718	8.7
S60	449,382	100.0	96,866	21.6	306,387	68.2	46,013	10.2
H2	444,599	100.0	83,766	18.8	304,120	68.4	56,261	12.7
H7	438,635	100.0	72,815	16.6	297,067	67.7	68,465	15.6
H12	423,167	100.0	62,327	14.7	280,214	66.2	80,480	19.0
H17	442,699	100.0	58,932	13.3	283,492	64.0	100,034	22.6
H22	443,766	100.0	55,317	12.5	275,191	62.0	110,405	24.9
H27	429,508	100.0	50,265	11.9	249,601	59.0	122,974	29.1
R2	409,118	100.0	46,771	11.6	223,535	55.5	132,604	32.9

※ 50年以降の総数には年齢不詳を含む。

### 3 就業人口

(単位：人・%)

年次	区分	就業者数・構成比								
		総数	第1次産業	割合	第2次産業	割合	第3次産業	割合	分類不能	割合
S50		188,234	11,097	5.9	54,138	28.8	122,362	65.0	637	0.3
S55		188,297	9,706	5.1	45,557	24.2	132,928	70.6	106	0.1
S60		189,264	8,519	4.5	42,256	22.3	138,110	73.0	379	0.2
H2		194,832	6,722	3.5	42,406	21.8	145,315	74.6	389	0.1
H7		200,398	5,299	2.6	42,980	21.4	151,431	75.7	688	0.3
H12		190,210	4,062	2.1	38,964	20.5	145,677	76.6	1,507	0.8
H17		197,026	4,425	2.2	36,687	18.6	154,033	78.2	1,881	1.0
H22		199,972	4,060	2.0	35,833	17.9	149,230	74.6	10,849	5.4
H27		195,850	3,658	1.9	36,181	18.5	146,548	74.8	9,463	4.8
R2		184,533	3,011	1.6	31,003	16.8	145,240	78.7	5,279	2.9

### 4 人口集中地区

年次	区分	全 市				人 口 集 中 地 区			
		人 口	世帯数	面 積	人口密度	人 口	世帯数	面 積	人口密度
		人	世帯	km <sup>2</sup>	人/km <sup>2</sup>	人	世帯	km <sup>2</sup>	人/km <sup>2</sup>
S50		450,194	134,783	239.65	1,878.5	336,025	105,192	33.4	10,060.6
S55		447,091	143,448	240.43	1,859.5	345,980	115,411	39.4	8,781.2
S60		449,382	149,453	241.76	1,858.8	338,296	117,738	39.0	8,674.3
H2		444,599	156,731	240.77	1,846.6	369,833	134,689	44.5	8,310.9
H7		438,635	165,078	241.09	1,819.4	363,247	141,783	43.7	8,312.3
H12		423,167	166,391	241.20	1,754.4	351,970	143,684	44.5	7,909.4
H17		442,699	176,636	338.72	1,307.0	340,164	144,312	45.6	7,459.7
H22		443,766	187,685	406.43	1,091.9	327,791	145,917	45.3	7,236.0
H27		429,508	189,419	405.86	1,058.3	314,082	146,368	44.7	7,028.0
R2		409,118	187,423	405.86	1,008.0	290,853	140,773	43.1	6,756.2

※ 人口集中地区…人口密度の高い調査区（原則として人口密度が1平方キロメートル当たり4,000人以上）が隣接し、それらの隣接した地域の人口が5,000人以上となる地域。

### 5 昼間人口

(単位：人)

区 分		平成22年	平成27年	令和2年
夜間人口		443,766	429,508	409,118
流 入	総数	34,111	35,275	31,808
	就業者	28,666	29,820	27,715
	通学者	5,445	5,455	4,093
流 出	総数	20,097	21,040	21,431
	就業者	17,622	18,381	18,903
	通学者	2,475	2,659	2,528
流入超過者		14,014	14,235	10,377
昼間人口		457,780	443,743	419,495

※ 夜間人口、昼間人口は、不詳の者を含む数値である。  
流入・流出には15歳未満を含む。